

## 0. はじめに ～霊長類の特徴と社会生態学の考え方～

- 本来の自然人類学とは？
  - 自然におけるヒトの位置, ヒトの進化史的位置, 詳しく言うなら, ヒトがヒト以外との共通祖先から, いつ, どこで, どのような理由で枝分かれし, どのような過程を経て, 現在のヒト (ホモ・サピエンス・サピエンス) になったかを探る学問.
- 本講義の主テーマは霊長類社会生態学
  - 環境への社会的適応と社会的形質を生み出す自然選択の働き方を調べる学問. 平たく言えば, どのような環境要因が動物の社会構造や社会行動にどのように影響を及ぼしているかを調べる学問 (図表 0-1).
    - ◇ 多様な社会構造, 社会行動を示す霊長類は, 格好の材料.
- 霊長類の分布
- 霊長類の特徴および進化傾向
  - 手足の把握・操作能力の発達 (母指対向性, 鎖骨の存在と尺骨ととう骨の分離, 平爪の存在など), 視覚の発達・嗅覚の退化 (立体視, 色彩感覚, 嗅覚の退化など), 大脳、特に新皮質の発達など.
- 霊長類の分類とヒトの位置
  - 現生の霊長類は 12 科約 180 種に分類 (図表 0-2)
  - ヒトの系統がチンパンジーの系統と分岐したのは, たった 500 万年前! (?) (図表 0-3, 図表 0-4)